

[成果情報名]ラベンダー「長崎 Lav3」の室内観賞時における品質保持効果を高めるための光強度

[要約]長崎ラベンダー「長崎 Lav3」は、室内において 12000lux で観賞すると、日持ち日数が延長し、開花が促進される。

[キーワード]ラベンダー、光量、日持ち、品質保持

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[連絡先]（代表）0957-26-3330

[区分]花き

[分類]普及

[作成年度]2021 年度

[背景・ねらい]

長崎ラベンダーは花色・草姿が優れていることから、国内のみならず、海外においても安定出荷を要望されている。これまで本センターおよび香港バイヤーや市場、関係機関と連携しながら輸出のための試験輸送に取り組んできた。鉢物ラベンダーの香港への輸送は、1 週間の長期にわたるため、着荷後の花穂の枯れや開花不良等が問題となっていた。そこで本センターでは輸送温度の検討等の試験を行い、解決を図ってきた（成果情報・指導、2020）。また、輸出先の香港では室内等の弱光下で保管・観賞されることが多く、ラベンダーは光要求性が高い植物であるため、光量の不足による急速な劣化が懸念される。

そこで、本研究では、ラベンダーの室内での保管や鑑賞において必要な光強度を検討し、香港のバイヤーに繋げ、香港への長期輸送後も品質維持が可能になる技術を開発する。

[成果の内容・特徴]

1. 長崎ラベンダー「長崎 Lav3」は鑑賞中の光強度が大きくなるほど、日持ち日数が長くなり、開花率が向上する（表 1、写真 1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本試験は、ラベンダーを 10℃・6 日間の暗黒輸送シミュレーション後、気温 25℃、相対湿度 60%程度、12 時間日長の室内で日持ち調査および開花調査を行ったものである。
2. 本試験は、室内で鑑賞することを想定したものであるため、試験区を12000luxまでとしているが、更に光強度の強い環境で鑑賞することが望ましい。
3. 12000luxは、「東または西向きの窓辺、または南向きの窓から 1 m程度離れた場所」である。(引用元:Lighting for indoor plants and starting seeds 2020、How much light do my indoor plants need 2020)
4. 日持ち調査および開花調査には、十分に着色し開花直前の花穂を用いた。

[具体的データ]

表1 鑑賞中の光強度がラベンダー「長崎 Lav3」の品質に及ぼす影響

観賞中の光量 (lux)	日持ち日数 (日)	開花率 ^z (%)	花径 (mm)
1000	16.0 b ^y	0.0 b	-
5000	22.3 a	8.4 b	7.1 a
12000	24.1 a	22.7 a	7.2 a



^z) 1花穂ごとに、開花した小花数/1花穂あたりの小花数×100
^y) Tukeyの多重検定により、異文字間に5%水準で有意差あり
 n=14~30

(a)



(b)



(c)



写真1 日持ち調査8日目

(a)1000lux、(b)5000lux、(c)12000lux

[その他]

研究課題名：ジャパンフラワー強化プロジェクト推進

予算区分：国庫

研究期間：2021年度

研究担当者：渡川友里恵